

校長室だより

# うんとこしょ どっこいしょ

THE HEADMASTER'S REPORT

第91号

令和8年2月24日

渋谷区立 代々木 中学校長 駒崎 彰一

## 春まぢか

旧暦（24 節気）では、「立春」を過ぎ、「雨水」の時季となっています。降る雪が雨へと変わり、雪解けが始まる頃とされ、昔から農耕をはじめめる時期の目安とされています。やわらかな日差しの中、草木がほんのり色づく様子や春霞を楽しめる季節です。

昨日は、記録的な暖かさとなる季節外れの陽気で・・・黄砂の霞であったような・・・。

3年生は都立入試を終え「卒業モード」に突入。本日より本年度最後の定期考査です。

代々木中学校の「春まぢか」の様子をレポートします。



桜の蕾も日に日に成長しています。

今年の「さくら開花予想」ですが各気象関係情報を確認すると東京は3月20日前後のようです。

卒業式に開花して、入学式まで咲き続ける・・・

学校のサイクルに合うように開花を！



玄関脇の花壇の花も開花が広がっています。寒く乾燥した東京の冬を乗り越えて咲き始めています。



玄関脇の梅の花が満開になりました。



今朝、梅の木に「めじろ」が2羽飛来。  
「めじろ」は花の蜜が好んで食べます。(舌が筆のようになっており、花蜜にさし込んで舌の先に含ませるようにして蜜を食べるそうです。)花の蜜を吸っている様子が見られました。代々木は、代々木公園や明治神宮の杜があり野鳥が多く飛来します。先日も教室に「オナガ」が入って・・・。

玄関脇のコンポスト内部も「春まぢか」外気温が上昇すると、土中の微生物  も活性化してくるようです。

コンポスト内部の土中温度も昨日から50℃を超えてきています。



暖かなコンポスターの内部でキノコが発生しました。

「クズヒトヨタケ」いうキノコです。

星屑のような傘であることから「クズ」、一夜で傘が溶けてなくなってしまうことから「ヒトヨ」という名前になったという「可憐な茸」です。

まさにコンポストの「妖精」です！



「春まぢか」寒く厳しい冬が終わり、暖かく明るい春がやってくるのを、心から待ちわびる言葉です。同じような意味の言葉には、「春待つ」「春近し」「春隣」などがあります。美しい日本の表現です。どの言葉にも「春」に対する想い、春の兆しに溢れる表現です。

定期検査中ですが・・・春の訪れを探してみてください。